

令和4年9月5日
総合政策局国際政策課
(グローバル戦略)

アフリカにおける「質の高いインフラ」の実現にむけた取組みを本格再開

～TICAD8にあわせて「日・アフリカ官民インフラ会議」を開催！～

国土交通省では、TICAD8の機会をとらえて、アフリカにおける我が国の提唱する「質の高いインフラ」の理解促進と我が国企業の進出を支援するため、チュニジア設備・住宅省との共催により「第3回日・アフリカ官民インフラ会議」をチュニスで開催し、アフリカにおける「質の高いインフラ」プロジェクトの実現に向け、アフリカ・インフラ協議会(JAIDA)会員企業の取組のPR等を実施しました。

国土交通省は、我が国の提唱する「質の高いインフラ」の理解促進を図るとともに、我が国企業のアフリカ進出を支援することを目的として、第8回アフリカ開発会議(TICAD8)にあわせて、チュニジア設備・住宅省との共催による「第3回日・アフリカ官民インフラ会議」を8月26日にチュニスにて開催しました。概要は以下の通りです。(会議の詳細は別紙を参照)

開催日：2022年8月26日(金)

会場：文化センター(チュニス市内)

形式：渡航する企業による現地参加+オンライン(Zoom)によるハイブリッド形式

参加者：現地参加者 約50名(日本側約20名、アフリカ・各国機関側約30名)

オンライン 約160名(登録数ベース)

また、会議に先立ち、天野海外プロジェクト審議官は宮本 JAIDA 会長とともに、同会議に参加したザアフラニ チュニジア設備・住宅大臣及びクシビ チュニジア建設協会会長らと会談を行い、日・チュニジアの官民双方の協力について意見交換を行いました。



(注)TICAD: Tokyo International Conference on African Development(アフリカ開発会議)の略。アフリカの開発をテーマとする国際会議。TICAD8(第8回アフリカ開発会議)は2022年8月にチュニジア・チュニスにて開催。(前回は2019年8月横浜)

<問い合わせ先>

国土交通省 総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 新井、竹中、石田(内線25206、25226、25227)
TEL 03-5253-8111、03-5253-8314(直通)、FAX 03-5253-1562

第3回 日・アフリカ官民インフラ会議（8月26日）

- (1) 開催日： 令和4年8月26日（金）
 (2) 会場： 文化センター（チュニス市内）
 (3) 形式： TICAD8 本会合出席のために渡航する企業による現地参加 + オンライン
 (4) 参加者： 現地参加者 約50名（日本側約20名、アフリカ・各国機関側約30名）
 オンライン 約160名（登録数ベース）
 ※日本・チュニジア両国政府の方針を踏まえ、感染症対策の観点から現地参加者は約50名に制限し開催した。

（日本側の主な出席者）

森内閣総理大臣補佐官（ビデオ登壇）
 国土交通省 天野海外プロジェクト審議官 ほか
 アフリカ・インフラ協議会（JAIDA）会員企業（宮本会長、奥村代表 ほか）

（アフリカ側の主な出席者）

チュニジア政府関係者（サラ・ザアフラニ設備・住宅大臣、エル・マジーディ・ラビー運輸大臣 ほか）
 チュニジア建設協会会員企業（ジャメル・クシビ建設協会会長 ほか）
 アフリカ開発銀行 ハリド・アムリ専門家
 ガーナ道路・高速道省 アウォル・アッバス次官

(5) 会議概要：

① オープニングセレモニー

会議の開会にあたり、天野海外プロジェクト審議官、森内閣総理大臣補佐官、宮本 JAIDA 会長、アッバス ガーナ道路・高速道省次官、ザアフラニ チュニジア設備・住宅大臣がそれぞれ挨拶を行いました。

・ 天野海外プロジェクト審議官挨拶

＜概要＞

ナイロビでの第1回と横浜での第2回に引続き、第3回日・アフリカ官民インフラ会議が開催でき嬉しく思う。国土交通省や日本政府はアフリカの「質の高い成長」を支えるため、日本企業の高度な技術やノウハウを活用したインフラ整備を進めるとともに、アフリカ諸国との関係構築、日本の技術・ノウハウの普及のために政策対話を行ってきた。「質の高いインフラ」は日本企業だけで実現できるものではなく、日・アフリカの官民双方の力を結集することが肝要である。より多くの日本企業がアフリカ企業と協力してインフラ整備に取り組み、「質の高いインフラ」を通じてアフリカの人々の生活の向上と持続的な経済成長に貢献すること、アフリカと日本の協力が一層進展し、関係が一層強化されることを願う。



天野海外プロジェクト審議官挨拶

・ 森内閣総理大臣補佐官挨拶

＜概要（ビデオ登壇）＞

TICAD8 のサイドイベントとして本会議が対面にて開催されることを嬉しく思うとともに、

本会議の開催に尽力された関係者の皆様の努力に敬意を表す。COVID-19 やウクライナ情勢の影響を受け、アフリカを取り巻く環境は厳しさを増している。他方で、デジタルトランスフォーメーション等のイノベーションやグリーン投資の進展などポジティブな変化もある。日本政府としては TICAD8 を、アフリカが抱える課題に「成長の質」や「人」に重点を置く日本らしいアプローチで取組み、日本とアフリカが「ともに成長するパートナー」として、持続可能な世界の創造を目指す機会としたい。また、スマートシティなど、新たなニーズに対応した広い分野にまたがるプロジェクトも支援しながら、アフリカ主導の発展を後押ししたいと考えており、皆様からの提案・相談を大いに歓迎。本会議が、アフリカで新たな「質の高いインフラ」プロジェクトを生み出す契機となることを願う。



森内閣総理大臣補佐官挨拶

・ アフリカ・インフラ協議会（JAIDA）宮本会長挨拶
 <概要>

人数制限がありながらもこのような会合を開催できたこと、両国関係者と本日出席の皆様の努力・尽力に感謝。JAIDA は第 1 回目・アフリカ官民インフラ会議の成果の一つとして、国土交通省とアフリカでのインフラ事業に意欲的な民間企業が一緒になって立ち上げた組織であり、設立以来、政策対話を積極的に行ってきたところ、本日この「アフリカへのゲートウェイ」となり得るチュニジアにて第 3 回目・アフリカ官民インフラ会議に参加できて光栄に思う。アフリカに投資を呼び込むためのカギはインフラにかかっており、JAIDA は「MADE WITH JAPAN」の精神で協力していく。そして TICAD 基本理念である「アフリカのオーナーシップ」と「国際的なパートナーシップ」を尊重しつつ、「SDGs」や「アジェンダ 2063」の実現に向け日本とアフリカ双方の「官と民」の信頼関係を通じて、アフリカの潜在能力が一層発揮されるよう貢献して参りたい。私自身も JAIDA 会長として日本・アフリカの WIN-WIN の協調関係の向上に注力していく。



宮本 JAIDA 会長挨拶

- ・ ガーナ道路・高速道省 アッバス・アウォル・モハメッド次官挨拶（クワシ・アモアコ=アタ大臣代理）
- ・ チュニジア設備・住宅省 サラ・ザアフラニ・ゼンズリ大臣挨拶



ガーナ道路・高速道省アッバス次官挨拶



チュニジア設備・住宅省ザアフラニ大臣挨拶

② 全体会合 第1部

アフリカ開発銀行による基調講演に続き、国土交通省、チュニジア設備・住宅省、チュニジア運輸省より発表が行われました。

- ・ アフリカ開発銀行 ハリド・アムリ国際 PPP 専門家
「Financing Infrastructure in Africa」
- ・ 国土交通省 太田国際建設産業戦略官
「Investing in Quality Infrastructure」

＜国土交通省からの基調講演の概要＞

「質の高いインフラ」の概念について事例を交えながら詳しく説明し、これまでの国土交通省の取組を紹介した上で、「質の高いインフラ」を実現するための重要な要素として「良き発注者」と「良きパートナーシップ」の二つの観点に触れながら、「質の高いインフラ」の実現には、官民のステークホルダーの力を結集することが必要であることを強調しました。



国土交通省発表

(太田国際建設産業戦略官)

- ・ STUDI International サドリ・ベン・ユセフ専門家
- ・ チュニジア設備・住宅省 スラ・ズーアリ道路・橋梁局長
「Can PPP develop infrastructure in Africa?」
- ・ チュニジア運輸省 アブデルカデル・ケマリ戦略・公共施設・企業総局責任者
「Transportation Infrastructure Projects」



フォトセッション

(写真左から：チュニジア設備・住宅省オルファ課長、在チュニジアリビア大使館アブダー全権大使、ガーナ道路・高速道省アッバス次官、チュニジア設備・住宅省ザアフラニ大臣、国土交通省天野海外プロジェクト審議官、JAIDA 宮本会長、チュニジア建設協会クシビ会長、JAIDA 奥村代表)

③ 全体会合 第2部

リーダーズセッションにおいて、日本とチュニジアの民間企業から各社の紹介とアフリカにおけるインフラプロジェクトの成功事例の共有を行ったほか、リビア政府、チュニジア商務・輸出発展省、TABC 及び SCET-Tunisie から発表が行われました。

・ リーダーズセッション

<日本企業>

- 株式会社フジタ 奥村代表取締役社長（JAIDA 代表）
- 清水建設株式会社 大迫執行役員土木国際支店長
- 豊田通商株式会社 平田執行幹部/本部 COO
- 酒井重工業株式会社 酒井代表取締役社長
- 東洋建設株式会社 武澤代表取締役社長
- 株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル 米澤代表取締役社長
- 日本工営株式会社 中川執行役員副事業統括本部長
- 株式会社鴻池組 渡津代表取締役社長



リーダーズセッションの様子
（株）フジタ奥村社長（JAIDA 代表）

<チュニジア企業>

- STUDI International サドリ・ベン・ユセフ氏（コンサルタント企業代表）
 - チュニジア建設協会（FNEBTP） ジャメル・クシビ会長
 - AMA-Group アニス・マハムード部長
 - ETEP マハディ・アティア氏（建設企業代表）
-
- ・ Tunisian African Business Council<TABC> イサム・ベン・ユセフ氏
 - ・ リビアインフラ省 サミ・アベック氏
「Reconstruction of Libya What role and place for Japan?」
 - ・ チュニジア商務・輸出発展省チュニジア貿易オフィス エリエス・ベン・アムール最高経営責任者
「The Free Zone of Ben Guerdane」
 - ・ TABC アニス・ジャジリ会長
 - ・ SCET-Tunisie カリム・ガルビ副会長



チュニジア運輸省マジーディ大臣閉会挨拶

④ クロージングセレモニー

会議の閉会に当たり、チュニジア運輸省エル・マジーディ・ラビー大臣より閉会の挨拶が行われました。

会議に先立ち、天野海外プロジェクト審議官、宮本 JAIDA 会長、ザアフラニ チュニジア設備・住宅大臣及びクシビ チュニジア建設協会会長らが意見交換を行い、アフリカでのインフラプロジェクトの実現に向けて日・チュニジアの官民双方が協力関係を深めていくことで一致しました。



意見交換の様子